



# 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月7日

上場会社名 丸大食品株式会社  
コード番号 2288 URL <https://www.marudai.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経理部長 (氏名) 森本 芳史

TEL 072-661-2518

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	58,330	3.7	1,667	71.1	1,725	63.7	3,204	228.2
2024年3月期第1四半期	56,263	3.3	974		1,054		976	

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 3,332百万円 (65.1%) 2024年3月期第1四半期 2,018百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	128.94	
2024年3月期第1四半期	39.03	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	126,053	65,583	51.4	2,607.82
2024年3月期	121,819	62,751	50.9	2,494.90

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 64,816百万円 2024年3月期 62,010百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期				20.00	20.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	117,000	2.5	2,000	34.9	2,200	26.5	2,900	195.0	116.68
通期	235,000	2.7	4,000	28.3	4,400	20.9	4,000		160.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	26,505,581 株	2024年3月期	26,505,581 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,650,743 株	2024年3月期	1,650,685 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	24,854,843 株	2024年3月期1Q	25,020,539 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(会計方針の変更に関する注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、景気は緩やかな回復が続くことが期待される一方、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や不安定な世界情勢、物価上昇、金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、原材料価格の高騰が継続し、人件費、物流費などのコスト増加を販売価格に転嫁する動きが広まるなかで、先行きへの不安などから消費者の節約志向が一層高まっており、依然として厳しい状況が続いております。食肉相場におきましては、国産牛肉は需要減少から前年を下回って推移しておりますが、国産豚肉は牛肉や輸入豚肉からの代替需要により前年を上回って推移しております。輸入食肉は、出荷頭数減少に加え、為替の影響などから、牛肉、豚肉ともに高値で推移しております。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、企業活動を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比3.7%増の583億30百万円、営業利益は同71.1%増の16億67百万円、経常利益は同63.7%増の17億25百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産処分益20億円の上もあり同228.2%増の32億4百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

## 【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高 (注)			セグメント利益		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	37,306	38,758	1,452 (3.9%)	699	1,508	809 (115.7%)
食肉事業	18,927	19,543	615 (3.3%)	266	151	△115 (△43.3%)
その他	30	28	△1 (△5.1%)	8	7	△1 (△15.5%)
合計	56,263	58,330	2,066 (3.7%)	974	1,667	692 (71.1%)

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。

## 【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	15,509	16,508	999 (6.4%)
調理加工食品	21,796	22,249	452 (2.1%)

## ① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、「燻製屋」シリーズなどを中心に12品の「TEAM JAPANパリ2024公式ライセンス商品」限定デザインを発売し、応援キャンペーン実施による売場の活性化を図り売上拡大に努めました。新商品では、麺のトッピングにぴったりなキザミハムなどの「具のつけ亭」シリーズや、人気キャラクターを起用した「ちいかわウインナー」などを投入し拡販に努めました。以上のことから、当部門の売上高は前年同期比6.4%の増収となりました。

調理加工食品部門では、人流回復から需要が拡大しているコンビニエンスストア向け商品や外食産業向け業務用商品などの売上高が堅調に推移しました。デザート類では、販促活動を実施した珈琲ゼリーの拡販やこだわりの素材を使用したチルドデザートの売上拡大を図りました。レトルトカレー商品では、ストック需要の提案などを実施し、「ビストロ倶楽部濃厚カレー」や「シェフの匠」シリーズの拡販を図り売上高が堅調に推移しました。以上のことから、当部門の売上高は前年同期比2.1%の増収となりました。

以上の結果、加工食品事業の売上高は前年同期比3.9%増の387億58百万円となりました。セグメント利益は、原材料価格の高騰や物流コストの増加等の影響がありましたが、売上高の増収や合理化などのコスト削減などに努めた結果、前年同期比115.7%増の15億8百万円となりました。

## ② 食肉事業

牛肉につきましては、原材料高騰による物価上昇に伴い消費者の節約志向が続いたため、販売数量は伸び悩みました。豚肉につきましては、国産・輸入豚肉ともに相場が高騰しましたが、消費者の牛肉からの需要シフトなどにより量販店向け・外食産業向けともに販売数量は伸長し、売上高は前年を上回りました。

以上の結果、食肉事業の売上高は前年同期比3.3%増の195億43百万円となりました。セグメント利益は、円安進行によるコスト高を販売価格に転嫁しきれず、前年同期比43.3%減の1億51百万円となりました。

## ③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比5.1%減の28百万円、セグメント利益は前年同期比15.5%減の7百万円となりました。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

〔連結財政状態〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	121,819	126,053	4,234
負債	59,068	60,470	1,402
純資産	62,751	65,583	2,831
自己資本比率	50.9%	51.4%	0.5%

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が15億30百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が20億18百万円、商品及び製品が18億50百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ42億34百万円増加し、1,260億53百万円となりました。

負債は、有利子負債が17億82百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が23億94百万円、賞与引当金が5億45百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ14億2百万円増加し、604億70百万円となりました。

純資産は、剰余金4億97百万円の配当がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益32億4百万円の計上、その他有価証券評価差額金1億9百万円の増加などから、前連結会計年度末に比べ28億31百万円増加し、655億83百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から0.5%上昇し、51.4%となりました。

## 〔連結キャッシュ・フローの状況〕

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,959	138	△1,821
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,704	583	2,287
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,201	△2,251	△3,453
現金及び現金同等物の増減額	1,457	△1,530	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,373	8,137	△235

営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の増加による減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上や減価償却費の計上などから、1億38百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出がありましたが、固定資産の売却による収入などから、5億83百万円増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の減少や配当金の支払いによる支出などから、22億51百万円減少しました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末から15億30百万円減少し、81億37百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の事業環境については、原材料価格をはじめとする様々なコストの上昇が見込まれるうえに、消費者の節約志向が一段と高まるなど、厳しい状況が続く見通しです。そのため、2025年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2024年5月13日に公表した業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,668	8,137
受取手形及び売掛金	28,018	30,037
商品及び製品	11,782	13,632
仕掛品	486	524
原材料及び貯蔵品	6,286	7,117
その他	856	1,131
貸倒引当金	△19	△19
流動資産合計	57,078	60,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	59,707	59,990
減価償却累計額	△47,196	△47,492
建物及び構築物 (純額)	12,511	12,497
機械装置及び運搬具	70,742	71,025
減価償却累計額	△62,380	△62,934
機械装置及び運搬具 (純額)	8,361	8,090
工具、器具及び備品	4,419	4,485
減価償却累計額	△3,173	△3,237
工具、器具及び備品 (純額)	1,245	1,247
土地	15,784	16,865
リース資産	9,083	8,756
減価償却累計額	△5,058	△4,967
リース資産 (純額)	4,024	3,789
建設仮勘定	502	697
有形固定資産合計	42,430	43,188
無形固定資産	324	307
投資その他の資産		
投資有価証券	15,915	15,973
関係会社株式	345	336
長期貸付金	19	18
退職給付に係る資産	3,078	3,154
繰延税金資産	339	370
その他	2,415	2,274
貸倒引当金	△128	△133
投資その他の資産合計	21,985	21,995
固定資産合計	64,741	65,491
資産合計	121,819	126,053

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,491	24,886
短期借入金	9,248	7,901
1年内返済予定の長期借入金	2,984	2,914
リース債務	1,057	1,077
未払金	5,725	6,103
未払法人税等	806	759
未払消費税等	520	306
賞与引当金	801	1,347
構造改革引当金	278	277
その他	1,784	1,820
流動負債合計	45,697	47,393
固定負債		
長期借入金	5,177	5,055
リース債務	3,179	2,916
繰延税金負債	2,939	3,011
退職給付に係る負債	1,527	1,551
その他	547	543
固定負債合計	13,370	13,076
負債合計	59,068	60,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	22,086	22,086
利益剰余金	28,474	31,181
自己株式	△3,620	△3,620
株主資本合計	53,656	56,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,049	8,158
繰延ヘッジ損益	43	42
為替換算調整勘定	80	81
退職給付に係る調整累計額	181	170
その他の包括利益累計額合計	8,354	8,452
非支配株主持分	741	766
純資産合計	62,751	65,583
負債純資産合計	121,819	126,053

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	56,263	58,330
売上原価	47,690	49,081
売上総利益	8,573	9,248
販売費及び一般管理費	7,599	7,581
営業利益	974	1,667
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	9	3
不動産賃貸料	35	40
その他	117	85
営業外収益合計	165	131
営業外費用		
支払利息	58	57
その他	27	15
営業外費用合計	86	73
経常利益	1,054	1,725
特別利益		
固定資産処分益	0	2,000
投資有価証券売却益	—	276
特別利益合計	0	2,276
特別損失		
固定資産処分損	19	34
構造改革費用	—	23
製品自主回収関連費用	—	16
特別損失合計	19	74
税金等調整前四半期純利益	1,035	3,927
法人税、住民税及び事業税	328	737
法人税等調整額	△294	△44
法人税等合計	33	693
四半期純利益	1,001	3,234
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	976	3,204

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,001	3,234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	997	109
繰延ヘッジ損益	0	△1
退職給付に係る調整額	10	△10
持分法適用会社に対する持分相当額	8	1
その他の包括利益合計	1,016	98
四半期包括利益	2,018	3,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,992	3,303
非支配株主に係る四半期包括利益	25	29

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,035	3,927
減価償却費	1,734	1,145
構造改革費用	—	23
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9	4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△52	△48
受取利息及び受取配当金	△13	△4
支払利息	58	57
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△276
固定資産処分損益 (△は益)	18	△1,965
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,941	△2,023
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,904	△2,713
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,193	2,394
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2	△214
その他	982	367
小計	2,117	673
利息及び配当金の受取額	168	208
利息の支払額	△44	△41
法人税等の支払額	△247	△688
特別退職金の支払額	△34	△12
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,959	138
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△11	△12
投資有価証券の売却による収入	—	410
固定資産の取得による支出	△1,684	△1,875
固定資産の売却による収入	0	2,113
その他	△8	△53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,704	583
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,106	△1,347
長期借入金の返済による支出	△184	△192
リース債務の返済による支出	△243	△235
配当金の支払額	△471	△472
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,201	△2,251
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,457	△1,530
現金及び現金同等物の期首残高	6,916	9,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,373	8,137

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	15,509	—	15,509	—	15,509	—	15,509
調理加工食品	21,796	—	21,796	—	21,796	—	21,796
食肉事業	—	18,927	18,927	—	18,927	—	18,927
その他	—	—	—	30	30	—	30
顧客との契約から 生じる収益	37,306	18,927	56,233	30	56,263	—	56,263
外部顧客への売上高	37,306	18,927	56,233	30	56,263	—	56,263
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	194	194	△194	—
計	37,306	18,927	56,233	224	56,458	△194	56,263
セグメント利益	699	266	965	8	974	—	974

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	16,508	—	16,508	—	16,508	—	16,508
調理加工食品	22,249	—	22,249	—	22,249	—	22,249
食肉事業	—	19,543	19,543	—	19,543	—	19,543
その他	—	—	—	28	28	—	28
顧客との契約から 生じる収益	38,758	19,543	58,301	28	58,330	—	58,330
外部顧客への売上高	38,758	19,543	58,301	28	58,330	—	58,330
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	234	234	△234	—
計	38,758	19,543	58,301	263	58,565	△234	58,330
セグメント利益	1,508	151	1,659	7	1,667	—	1,667

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	食肉事業	計				
減損損失(注)	21	—	21	—	21	—	21

(注)「構造改革費用」に含まれております。